

## シンポジウム開催のお知らせ

2023年度(令和5年度)調査研究結果発表シンポジウム

その政策、  
住民に届いていますか？

～行動変容を促すナッジを活用した社会課題解決～

2023年

7/21 金

参加無料

13:30～16:45

(受付開始12:30)

府中市市民活動センター  
プラッツ バルトホール  
東京都府中市宮町1丁目100  
ル・シーニュ 5階手話通訳  
要約筆記  
あり

## プログラム

13:30 開会

13:40 基調講演

**行政現場におけるナッジの効果的な設計方法と活用メリット**  
佐々木 周作 大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任准教授

14:20 調査研究結果発表

**自治体におけるナッジの活用に関する調査研究結果**  
安本 正義 元(公財)東京市町村自治調査会 研究員

14:40 休憩

15:00 パネルディスカッション

**コーディネーター**  
佐々木 周作 大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任准教授**第1部 自治体におけるナッジの活用の動向や課題****パネリスト****職員発案のナッジ理論活用について**  
清水 隆朝 塩尻市総務部税務課 課長補佐**つくば市のナッジ取組事例とナッジ・ユニットの役割**  
金野 理和 つくばナッジ勉強会(都市計画部学園地区市街地振興課主査)**ナッジに係る全国的な動向や自治体が共通して抱える課題**  
高木 佑介 横浜市行動デザインチーム(YBIT) 副代表**第2部 自治体におけるナッジの活用に係る意見交換**

16:45 閉会

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、やむを得ず中止となる場合があります。

主催：公益財団法人 東京市町村自治調査会



2017年に環境省において日本版ナッジユニットBESTが立ち上げられて以降、様々な自治体・分野等でナッジが展開されています。ナッジは低コストでも効果が得られるなどの特徴があることから、職員の工夫やアイデア次第で取り組むこともできます。本シンポジウムは、ナッジの効果や影響、課題や取組事例などを提示し、ナッジの活用が住民にとっても職員にとってもメリットのある取組だと理解してもらうとともに、ナッジの考え方が自治体に浸透し、ナッジが効果的に活用されるためのきっかけとなることを目的としています。

## 出演者プロフィール



佐々木 周作 (ささき しゅうさく)

大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任准教授

大阪大学感染症総合教育研究拠点・特任准教授。京都大学経済学部を卒業後、三菱東京UFJ銀行(現・三菱UFJ銀行)に入行。退職後、大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程にて、博士号(経済学)を取得。日本学術振興会特別研究員DC1及びPD・京都大学大学院経済学研究科特定期講師・東北学院大学経済学部准教授を経て、現職。専門は、応用ミクロ計量経済学・行動経済学・実験経済学。行動経済学会の理事とともに、環境省・経済産業省等の中央政府省庁や地方自治体で有識者委員やアドバイザーを務める。

**講演内容** ナッジの概要、政策活用のきっかけと広がり、実践するうえでのポイントと活用するメリット

清水 隆朝 (しみず たかとも)

塩尻市総務部税務課 課長補佐

2002年塩尻市入庁。初任の秘書広報課で担当した広報紙が、全国広報コンクールで5席入選。その後、建築住宅課、県庁派遣、税務課、農政課、市民交流センターで勤務した他、教育委員会では教職員の働き方改革に携わるなど、様々な経験を積む。2019年、税務課に係長として戻り、自らナッジ理論を学び、住民税の申告率向上に寄与するチラシを作成。2023年度早稲田大学人材マネジメント部会に参加するなど、意欲的に学び続けている。

**講演内容** 職員発案のナッジ理論活用事例や活用に至るまでのプロセスの紹介、庁内の巻き込み方、目標設定など

金野 理和 (こんの りわ)

つくばナッジ勉強会(都市計画部学園地区市街地振興課主査)

産業振興担当、スポーツ振興担当等を経て、2019年「つくばナッジ勉強会」設立時にたまたま声をかけられたのがナッジとの出会い。人間の幸福実現に直結しそうなナッジに大きな魅力を感じ、現在は政策にナッジやEBPMを活用していくよう庁内の普及促進に取り組む。2021年には「封筒メッセージの効果(避難行動要支援者名簿)」の事例でベストナッジ賞受賞。

**講演内容** ナッジの効果検証の方法と庁内にナッジを広める工夫

高木 佑介 (たかぎ ゆうすけ)

横浜市行動デザインチーム(YBIT) 副代表

英国大学院で社会政策を学ぶ中で、ナッジ等の行動科学に出会う。環境政策分野の研究機関等を経て、2013年に横浜市入庁。横浜市有志職員により立ち上げられたYBITでは、地方自治体向けのナッジ基礎研修やナッジの事例創出支援に取り組むとともに、WHOやシンガポール政府との連携など、国際連携を担う。海外の行動科学コミュニティから学びつつ、日本の自治体の取組を世界に発信したいという思いで活動中。

**講演内容** ナッジの最新の活用動向と多くの自治体が抱える課題・対応策

## 会場案内

## 府中市市民活動センタープラッツ バルトホール

東京都府中市宮町1丁目100 ル・シーニュ5階

京王線利用の場合 府中駅南口から徒歩1分(駅直結)

JR線利用の場合 南武線、武蔵野線 府中本町駅から徒歩10分

P 駐車場(有料)

駐輪場(有料)



## 参加申込方法

申込締切

先着40名

※当日参加不可

WEB <https://e.try-sky.com/kenkyu/>

FAX 「参加申込用紙」にご記入の上、下記事務局まで

郵送 「参加申込用紙」と同じ項目をご記入の上、下記事務局まで

- 先着順に「参加証」をお送りします(お申込み後、1週間程度で発送)
- 当日、受付にて「参加証」をご提示の上、ご入場ください
- 多摩・島しょ地域自治体職員の方は、各自自治体研修担当を通じてお申込みください
- 複数名でのお申込みの場合は、参加申込用紙をコピー等でご対応ください

※ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、参加可否を通知するための連絡先情報及びご本人確認のための情報として利用させていただきます。ご本人の同意なしにその他の目的で利用・提供はいたしません。  
※万が一新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へ提出させていただく場合があります。

参加申込用紙

※下記の項目についてご記入ください。 \*印は記入必須項目です。

お名前(ふりがな)\* 住所\* 〒

パネルディスカッション登壇者に質問したいことなどをご記入ください。  
※当日登壇者より回答させていただきますが、時間の都合によりお答えできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。※シンポジウム当日の質疑は予定しておりません。TEL\*  
FAX  
E-mail参加申込  
お問合せ2023年度(令和5年度)調査研究結果発表シンポジウム事務局(株式会社トライ内 10:00～18:00 土日・祝日を除く)  
〒113-0021 東京都文京区本駒込3-9-3 TEL.03-3824-7231 FAX.03-3824-7250 E-mail:kenkyu@e.try-sky.com